

事前評価個表

整理番号	18
------	----

地域（地区）名	よしいがわ 吉井川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岡山県	対象市町村	つやま 津山市ほか10市町村
事業実施期間	H30～H34（5年間）	事業実施主体	市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は岡山県東部に位置し、北部は標高1,000mを超える中国山地を形成する急峻な地形が多く、中部は500m以上の山地や津山盆地などの高原地帯、南部は100m程度の小起伏の低山から瀬戸内海沿岸に続いている。</p> <p>本地区の総面積251千haのうち森林面積は184千haとなっており、このうち民有林の森林面積は168千haであり、本地区の森林面積の91%を占めている。</p> <p>民有林における人工林面積は79千ha、天然林が82千haとなっており、人工林率は47%と県平均の41%より高くなっているが、Ⅲ～Ⅻ齢級の林分が76%を占めており、適正な保育や間伐の実施が課題となっている。</p> <p>特に、本地区の北部地域は本県の主要な林業地となっており、林道等の路網整備を実施することで、森林施業の効率化や木材の生産性向上が求められる地域である。</p> <p>一方、南部地域は気象や土壌条件から天然アカマツ林が大部分を占めており、松くい虫の被害量は減少してきているものの依然高い水準にあることから、伐倒駆除や樹種転換等による総合的な対策が求められ、また、人口集中地であるため、水源涵養、国土保全等の公益的機能の発揮が求められる地域である。</p> <p>このため、吉井川地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、計画的に保育・間伐等の森林施業を推進するとともに、効率的な森林施業の実施のために路網整備が必要である。</p> <p>これらのことから、本事業では、森林の有する多面的機能を総合的にかつ高度に発揮させるため、人工造林や保育・間伐等の森林整備及び路網の整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：9,210 ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐、森林作業道整備、付帯施設整備等</p> <p>路網整備：3,390 m 林業専用道</p> <p>総事業費：4,139,315 千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.51</p> <p>（総便益(B) = 45,429,280千円、総費用(C) = 10,082,913千円）</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析結果のほか、森林整備及び路網整備におけるコスト縮減の取組を実施することとしており効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、国土保全等の機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

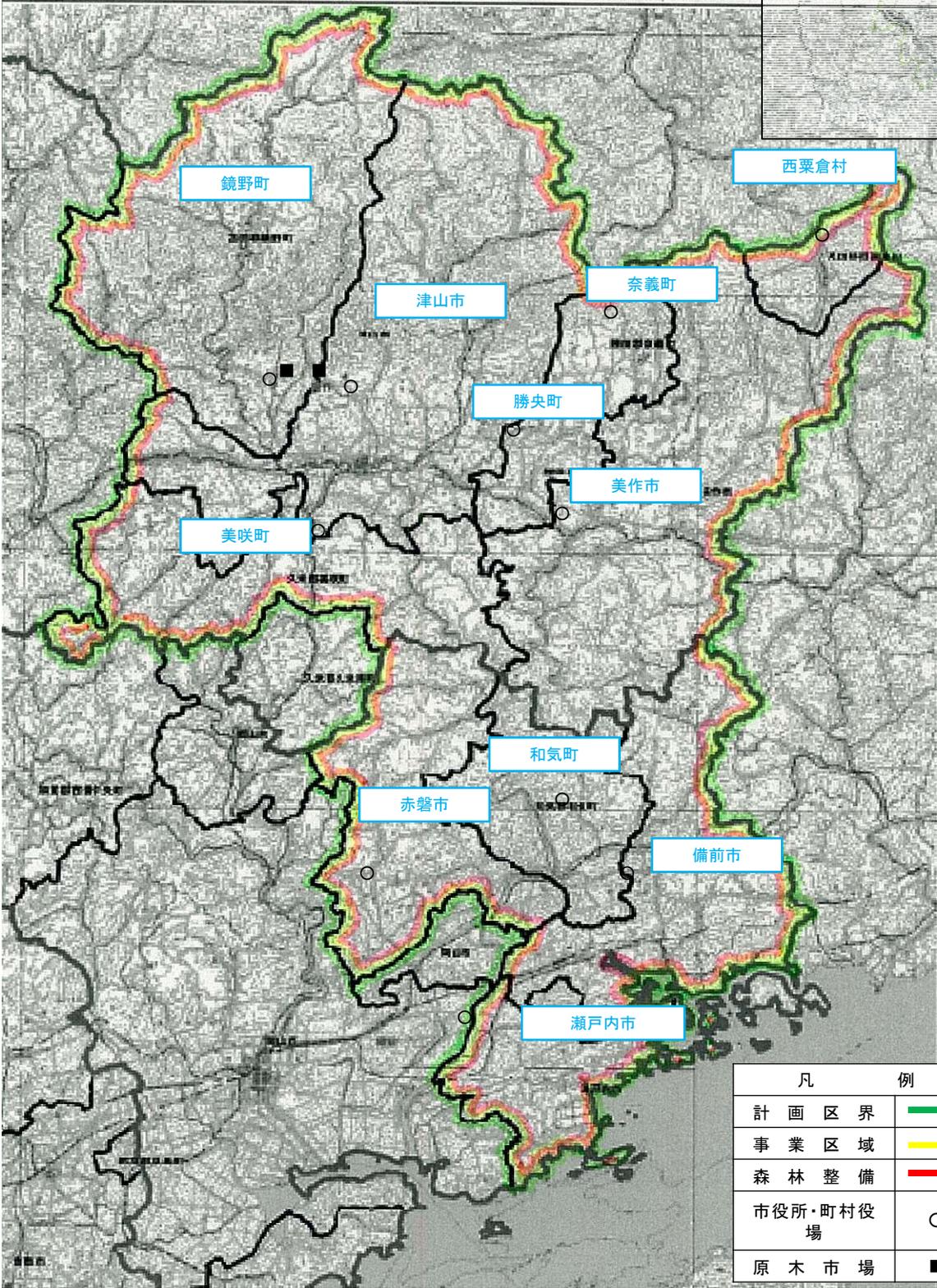
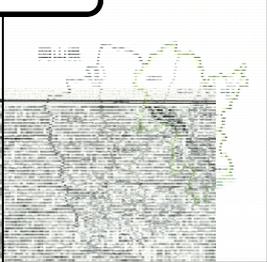
都道府県名: 岡山県

地域(地区)名: ^{よしいがわ}吉井川

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	9,489,309	
	流域貯水便益	2,573,099	
	水質浄化便益	6,142,740	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,799,783	
環境保全便益	炭素固定便益	10,205,608	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	3,939	
	木材利用増進便益	35,683	
	木材生産確保・増進便益	5,936,806	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	242,313	
総 便 益 (B)		45,429,280	
総 費 用 (C)		10,082,913	
費用便益比	$B \div C = \frac{45,429,280}{10,082,913} = 4.51$		

森林環境保全整備事業 吉井川地域(岡山県)



凡	例
計 画 区 界	— (Green line)
事 業 区 域	— (Yellow line)
森 林 整 備	— (Red line)
市 役 所・町 村 役 場	○ (Circle)
原 木 市 場	■ (Square)